

## 「短期大学での学びと卒業後の状況に関するアンケート」の

### 結果報告およびカリキュラムへの活用について

#### 1. 集計結果報告

「一般財団法人 大学・短期大学基準協会」が企画立案した「短期大学での学びと卒業後の状況に関するアンケート」に本学も参加し、本学ソフィア会（同窓会）に連絡先を登録しており、卒業後5年目で進路先を把握できている卒業生124名を対象に調査を実施した。うち15名（約12%）より回答があった。

卒業生の回答から、本学で身につけた能力等について「異文化理解」や「語学力」が、全国平均に比べ自己評価が非常に高いことが分かった。「問題理解能力」「文章作成力」「文章読解力」「データ理解力」「コミュニケーション能力」「学習習慣」「チャレンジ精神」「粘り強さ」「計画性」「社会貢献への意識」などの項目においても、全国平均に比べ、わずかながらではあるが高い自己評価を得た。その反面で、以下に述べる6項目については、全国平均よりも低かった。そのうち「論理的思考力」、「リーダーシップ」、「プレゼンテーション」、「選挙への関心」の4項目については、差はごくわずかであったが、「専門分野の知識」、「キャリア意識」の2項目については、相対的に大きな差が見られた。

#### 2. カリキュラムへの活用

全国平均に比べ数値が低かった2項目のうち、「キャリア意識」については、検討を要することと考える。多くの大学や短大では、「キャリア」等の名称をもつ必修科目を一年次に開講し、キャリア意識を高めようとしている。本学には、そのような必修科目は用意されていないが、代わりに「基礎ゼミナール」のなかでキャリア意識の育成を促すとともに、カリキュラム外でも学生生活・進路指導専門委員会が「キャリア講座」を実施している。他学における授業科目「キャリア科目」の実質的な内容は、本学で実施されている「基礎ゼミナール」と「キャリア講座」によってカバーされている。しかし「キャリア講座」は、参加が必須ではないため、その点に、キャリア意識の育成に関して他学との差が出る要因があると考えられる。特に、過去を振り返り、自分の強みを考える練習の機会は与えられてきたものの、就職後のキャリアプランまで幅広く考える機会は十分には用意できなかったという憾みがある。そこで、必修科目である「基礎ゼミナール」にキャリア意識を高める取り組みを組み込むこととし、10年後の自分を見据えた将来像をできるだけポジティブにイメージする機会として、「ライフラインチャート作成」を導入することとした。「ライフラインチャート」とは、これまでの人生を「幸福度」という軸で、自身がどのようなときに喜びを感じ、もしくは辛い思いをしたのか人生を振り返り、そこから将来どのような人生を実現したいのかを描いていくものである。

### 3. 上智大学短期大学部の取り組み

Q4「あなたは短期大学でもっと学びたかったことや改善してほしいことがありますか。」の質問に「ある」と回答した卒業生が、Q.5で自由記述した意見に対して、本学が取り組んでいる内容を以下に記載します。

#### ○キャンパスの不便さ

##### ○バスが満員で乗れない時があったので本数を増やしてほしい

スクールバスを1台追加で導入し、現在は3台で運行しています。これによってコロナ禍の密を解消しています。

##### ○一般教養科目をもう少し充実させてほしい

1科目2コマで行っていた教養科目を、A、Bの2つの科目（各1コマ）に分け、各セメスターで幅広い科目選択ができるようになりました。

##### ○就職後のキャリアプラン

「基礎ゼミナール」等の授業で自身のキャリアプランについて考える機会を取り入れています。今後さらにキャリア意識を醸成できるように検討していきます。

##### ○英語を話せない人が話す機会を作ること

英語科目では実際に英語を使って自分の意見を発信することに力を入れています。英語必修科目はレベルごとの少人数クラスで、授業では毎回英語で話す機会があります。英語の選択必修科目では、各自のニーズやレベルに合わせて科目選択できる機会を設け、「英語でコミュニケーションできる人物」の養成を目指しています。

また、教員と学生が昼休みに英語で楽しく会話する活動であるカフェランチョンや、短期留学もあります。

##### ○英語を使った授業

英語科目以外において、例えば2022年度では、「異文化間コミュニケーション」「文化人類学」「平和と開発」等の基礎科目や専門科目において、ネイティブスピーカーが授業を担当し、英語を使って専門分野を学ぶ授業が展開されています。

##### ○第二言語の抽選に落ちたので、必修にしてほしい

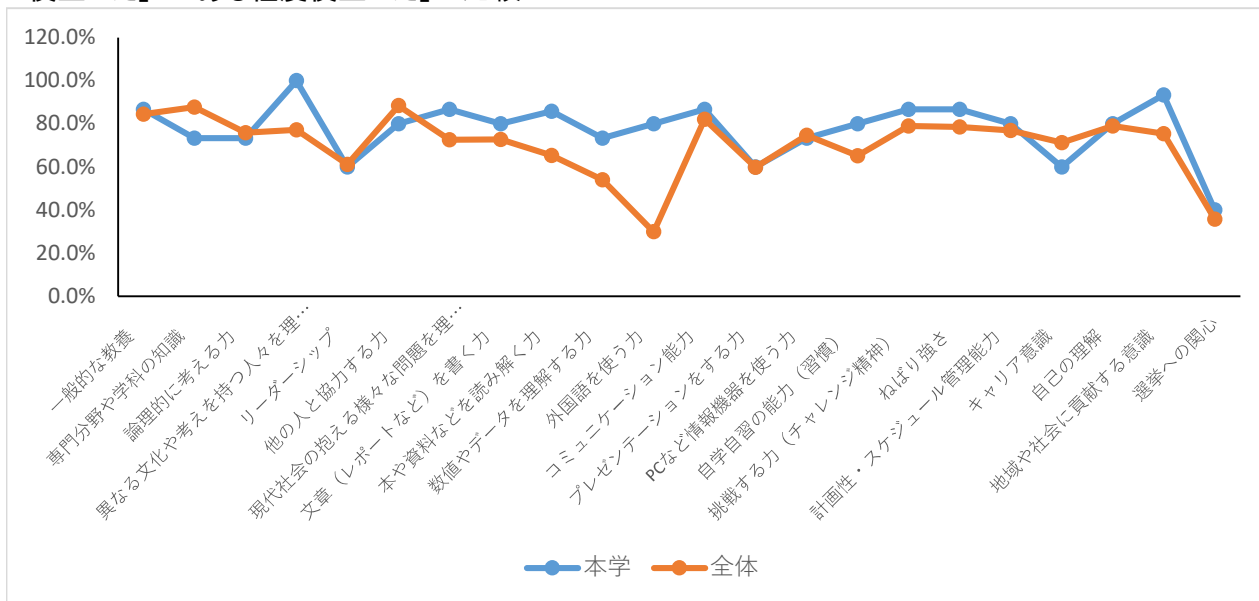
第二外国語については、新たな科目を開講できないか検討しているところです。

以上

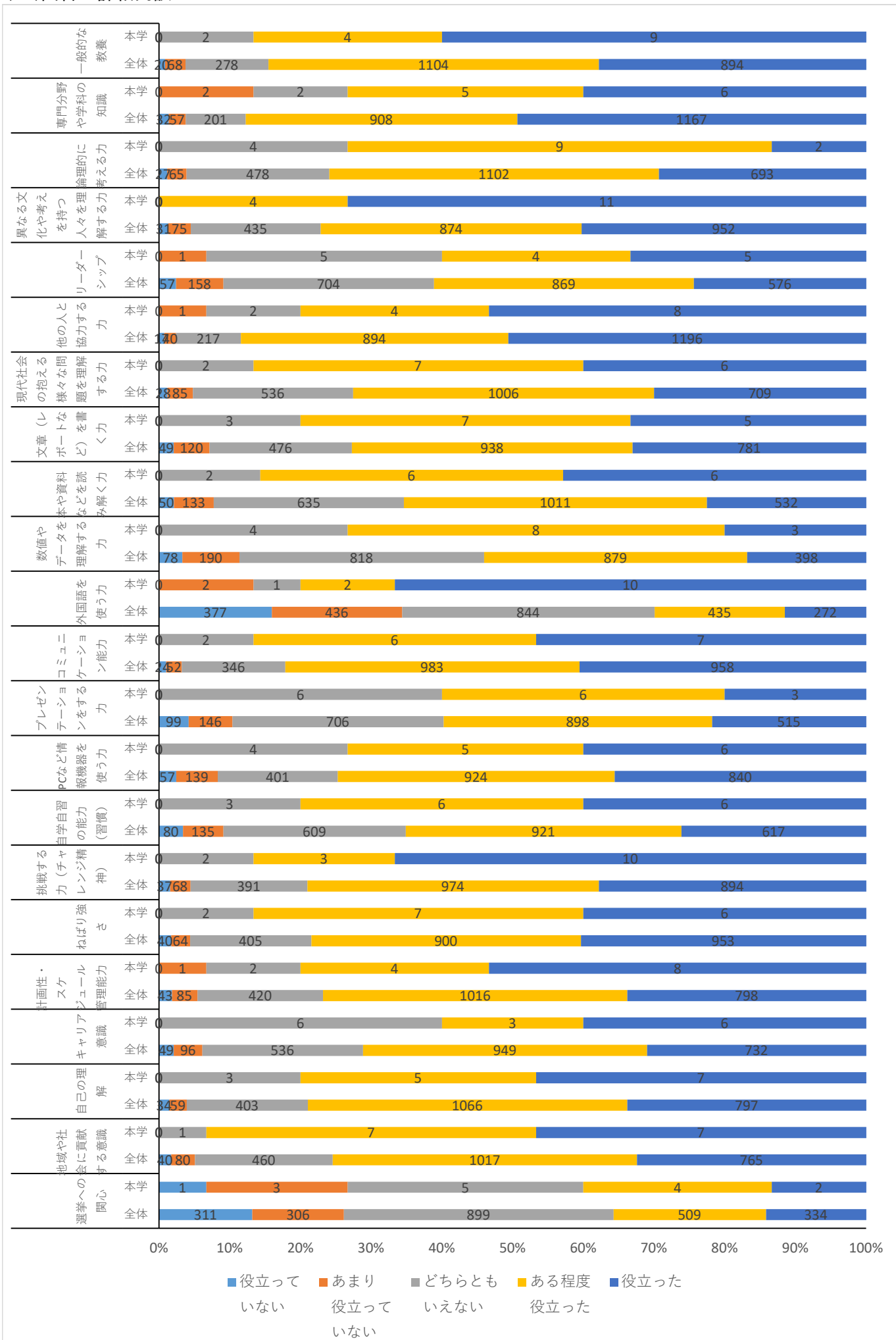
\*以下2021年度実施卒業生アンケート結果より、主な質問と回答データ抜粋

Q1. あなたの現在の立場からみて、短期大学で学んだ知識や能力はどの程度役に立っていますか。

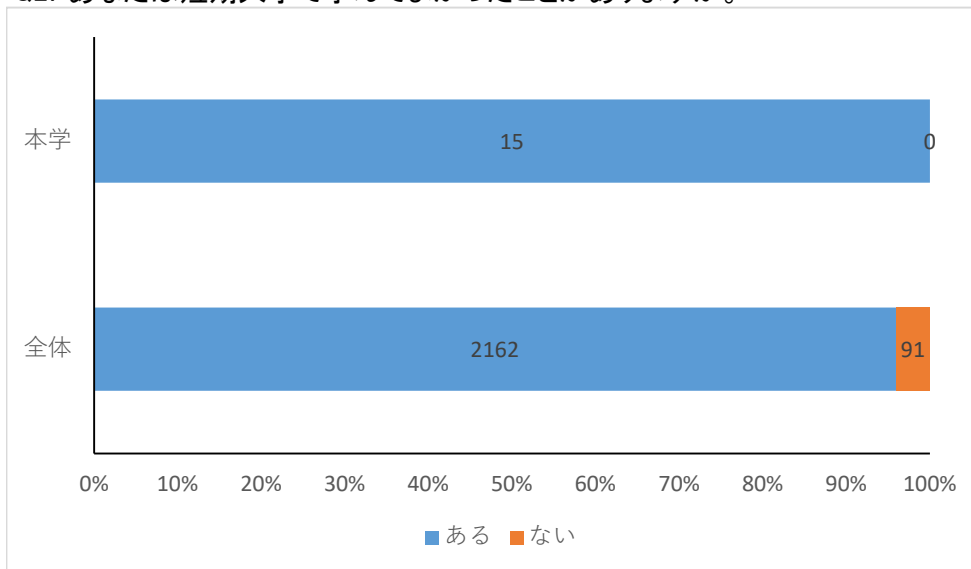
「役立った」+「ある程度役立った」の比較



(Q1)回答の詳細内訳



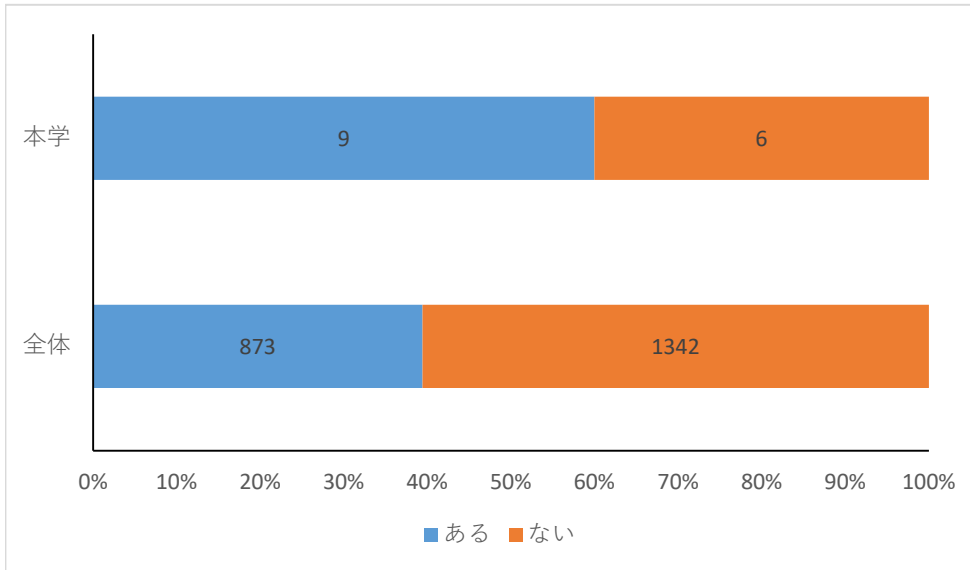
Q2. あなたは短期大学で学んでよかったことがありますか。



Q3. (Q2で「ある」と回答した方)あなたが短期大学で学んでよかったことについて、授業名やその内容などがありましたらご記入ください。

- ・ゼミ
- ・児童英語教育(市内小学校で行う英語教育活動)、  
コミュニティフレンド(地域の外国籍市民に行う日本語・教科学修支援活動)、  
キッズイングリッシュフレンド(市内図書館で幼児・児童を対象に行う英語読み聞かせや歌や遊びなどを行う活動)
- ・英語
- ・授業で出された課題のレポート(文章力がついた)
- ・バイリンガル教育
- ・英語でスピーチする力、英会話スキルを身につけることができた。  
また、TOEICスコアを向上させることができた。
- ・教育学自体に興味はなかったが、二年次に比較国際教育学を受講してから、  
他国と自国の教育の違いを知ると共に国際比較をしながら違いを楽しみ、  
それぞれの価値観について学ぶことが出来た。そして在籍している大学の学部では、  
国際比較を学んでいるため、短期大学時代に何気なく受講したものが  
繋がっていると感じた。
- ・キャリアプランニング(卒業生を招き様々な職種を紹介していただく講義)
- ・英語と哲学
- ・マスメディア論、社会学、児童英語
- ・教育学や、市内小学校で、小学生に英語で授業したこと。

Q4. あなたは短期大学でもっと学びたかったことや改善してほしいことがありますか。



Q5. (Q4で「ある」と回答した方)あなたが短期大学でもっと学びたかったことや改善してほしいことについて記入してください。

- ・キャンパスの不便さ
- ・バスが満員で乗れない時があったので本数を増やしてほしい
- ・一般教養科目をもう少し充実させてほしい
- ・就職後のキャリアプラン
- ・英語を話せない人が話す機会を作ること
- ・英語を使った授業
- ・第二言語の抽選に落ちたので、必修にしてほしいです。

Q6. あなたがいま短期大学で学んでいる後輩に伝えたいことがありましたらご記入ください。

- ・ 支援がすごく厚いので、就職も進学も自信を持って取り組める。
- ・ 子どもや子どもへの教育について疑問に思うことは先生に聞いておく(学習支援)
- ・ 資料の作成や自分の考えを話すことなど、短大でやっていることがきっと活かれます。がんばってください。
- ・ 就職・編入は大変かもしれませんが、頑張ってください。応援しています。
- ・ 短期大学で学ぶ二年間は本当にあっという間ですし、自分が何に興味を持っているのか、やりたいことは何かについて早めに気づくことが大切だと思います！そのために、しっかり自分が受講したい科目をとって真面目に授業を受けることであったり、学生ボランティア、アルバイト、友人との思い出を作ったり、あらゆることを経験してほしいと思います！
- ・ この時期の学生さんは悩まれる機会が多いかと思いますが、努力すれば良い方向に向かいますので学生である今を思いっきり楽しんで、頑張ってくださいね。
- ・ 自分が進みたい道を信じてください。学校の先生や職員の方は全力で応援、サポートしてくれます！
- ・ 短期大学は短いですが必ず実りのある2年間になると思います。悔いのない短大生活を送ってください。
- ・ 学んでいること全てが為になります。全てにおいて全力で！